＜総合ワークシート⑥　新聞づくりの例＞

松阪開府の祖　蒲生氏郷

発行者
松阪　鈴之助

蒲生氏郷の町づくり
～今も残っているもの～

蒲生氏郷は、一五八四年に、豊臣秀吉の命令を受けて松ヶ島城主になった。その後、「四五百森」とよばれる小高い丘に、新しい城を築き、城下町を「松坂」と名づけた。

①松坂城跡

町には、今でもいろいろなものが残っている。

・丘を南北に分け、北側に城をつくり、南側には神社をつくった。

・堀は、全部合わせると二・一キロメートルの長さがあり、はばは広い所では三〇メートルもあった。

②背割排水

・蒲生氏郷は、住民の生活を考えて、下水路を整備し、町の境とした。

③町の名前

・蒲生氏郷の時代にできた町の名前が今も残っている。

（日野町、湊町など）

「いつまでも栄えるように」
←
松　坂
→
豊臣秀吉の「大坂」からとった

＜感じたこと・考えたこと＞

四百年以上たった今でも、いろいろなものが町に残っていて、松阪の歴史と深いつながりがあった。信長や秀吉と関係があったことにもおどろいた。今とはちがう時代で、大変なこともあったと思うけど努力した人だと思う。

＜氏郷さんクイズ＞

(1)氏郷さんが生まれたのは、どこでしょうか。
①日野　②松阪　③京都

(2)松坂城の石垣の積み方はどれでしょうか。
①算木積み　②打ち込みはぎ　③野面積み

(3)氏郷さんが初めて戦に参加したのは、どこの戦いでしょうか。
①大坂城　②大河内城　③松ヶ島城

★答えは、冊子で確認しよう！★

＜総合ワークシート⑥＞

発行者